

長野高専後援会 長野支部だより

発行責任者 長崎 夫与志
編集 後援会 編集委員

平成 21 年度 学年別懇談会開催される

2月13日(土)長野第一ホテルに於いて約80名近くの保護者の出席と、長野高専より8名の先生方にご参加頂き、平成21年度学年別懇談会が開催されました。長崎支部長の挨拶に続いて、大島校長、前田教務主事、戸谷学生主事の各先生から学校情報などのお話を頂きました。その後各学年に分かれ担任の先生方と約1時間半にわたり懇談会が行われました。引き続き懇親会が行われ、和やかに会を終了することが出来ました。

学校長挨拶

校長 大島校長先生 日頃より学校に対し温かいご支援感謝申し上げます。



先程、支部長より話がありましたように高専に来て良かったと思えるにはどうしたら良いか。また、本日出席している保護者の中で一年生が多いわけですが、これから五年間あるいは七年間お子さんをお預かりして、どのような考え方で指導させていただいたら良いか、最近考えていることを述べさせていただきたいと思います。一言で言えば「平凡なことを徹底して続けてもらう。そして、その子なりにその子にとって非凡だなあと思える何かを発生してもらえれば」と思っております。現在、科学技術の進歩により勉強しなくてはならないことがどんどん増えており、これからどう生き社会に出て行くかを考えた時に、以前のように確たるモデルが見えづらくなって来ていると思います。このような中で学校としましても、これから色々と変化する世の中でも、基礎的なもの基本的なことをしっかりと体得、習得してもらいたいということに改めて重点を置かなければならないと思っております。これは基礎的な部分の勉強でもありますし、基礎的な接し方にもつながると思います。挨拶一つとっても、お互いに挨拶されるような生徒と教師の信頼感が学校なくてはならないと思っておりますし、学生も日常生活の中で健康に留意し身体の調子を整え、心も整えることによって、前向きな気持ちで学校生活に積極的に取り組む心構えを準備してもらう必要があると思います。学校側も精神的なプレッシャーを与えるのではなく、学生の状況を良く見ながら前向きに、素直な気持ちで勉強や活動に取り組める状況を学生や保護者の皆様と一緒に作っていかねばならないと思います。心の状況や身体の状況を十分に整えて、前向きで素直な気持ちで勉強することで教室に居てもらえるように、そして教師もそのような状況を見ながら一生懸命その職責を果たすことという両面の努力が必要であると考えております。世の中には、政治など「ぶれる」ということがよく言われますが、現代人の心のあり方や生き方もぶれ続けながら生きていかなければならない状況です。将来を担う学生たちがしっかりと学び続けられるような基礎基本の部分に長野高専としても重点を置きながら学んで行ければと思っております。今日の学年別懇談会も、そのようなことを踏まえてご意見、ご相談をいただき学生達の教育に取り込ませていただければと思っております。最後に日頃のご支援に感謝し、引き続きのご理解、ご支援をお願いいたします。

学校情報

教務主事 前田先生 教務主事という立場でお話させていただきます。



1月13日に実力テストがありました。1年生は英語・数学、2年生は英語・物理、3年生は学習到達度試験、4年生はトイックの試験、5年生は卒業研究のまとめとしての特別編成授業を行いました。成績優秀者は学校に掲示してありますが、4年生のトイックは今年度、高得点者が多かったと聞いております。平均点は345点で昨年の359点より低くなっていますが、5・600点以上の高得点を採用の人数が多くなっているため、全体としては例年と大きな差はないとのことでした。3年生は学習到達度試験については、数学と物理が全国統一試験を行っておりますが、まだ結果は来ていません。昨年度を含め例年は全国平均を上回っております。今年度につきましても、近々郵送されると思いますので、その結果を見たいと思っております。学力の定着は、日頃からの勉強が大切であると思っております。次に、入試の関係についてですが、1月23日に推薦、選抜試験が行われました。今年度は、77名の志願者がおりました、全員合格となりました。ただ、科によっては第2志望へ廻ってもらった人もおりました。学力選抜は、252名の志願者がおり、試験は2月21日に行われます。全体として昨年度より21名多くなっています。学年末試験についてですが、2月17日~2月25日に行われます。昨年度は再試対象者が、一昨年度より大幅に増えましたので、今年度はどうなるか、心配しております。日頃からのこまめな指導も必要だと思いますし、学生自身家庭学習が不足していることも感じております。次に1年生の補習の実施についてですが、今年度の11月から数学と物理の補習を実施しております。前期の成績により各クラス5名ずつ、

毎週一回 90 分の補習を行っております。上級生が中心になって指導をしておりますが、効果については現段階では、はっきりとは分かっておりません。ただ、後期中間試験においては、効果があったのではないかと考えますが、学年末に成績の出た段階で教務委員会にて分析したいと考えております。来年度も 1 年生補習は継続し、できることなら 2 年生の補習も検討していきたいと考えております。耐震改修については現在一般棟、管理棟の耐震改修を行っております。何かとご迷惑をおかけしますがよろしくお願い申し上げます。次に、来年度大幅に学事暦が変更されます。大きな変更点は、夏休み前に前期の全ての授業及び試験を終了することにしました。その結果夏休みが 8 月の第二週から開始することになります。そして、夏休みの終了が 9 月 26 日（日）となる予定です。実は関東信越地区の国立 7 高専のうち、長野高専だけが小中学校と同じような夏休みの形態を採っていたのですが、他の高専と同じにできないかという要望もあり、学校でも検討した結果このようになりました。メリットは授業を継続して行うことができることや他高専との交流などで、日程調整ができやすくなることです。デメリットとしては小中高の夏休みと合わないため、ご家庭では何かと不便をお掛けする事があるかと思ひますし、冷房費の問題も考えられます。今後の課題は長期休みの家庭学習をいかにできるかが一つの課題となります。授業参観につきましては今年度土曜日に行うことも考えております。その他、細かな学事暦の変更は学事暦を配布したところで確認していただければと思います。

生活指導

学生主事 戸谷先生 私の方からは教務以外の全般についてご説明させていただきます。



まず進路関係についてですが、本年度 180 名の進路状況は、昨年 12 月末時点で 68 名（37.8%）が就職、112 名（62.2%）が進学を希望していました。そして、就職の方はほぼ全学科が決まりました。進学の方は若干決まっていなかった子が居りましたが、その中でも就職に変更する子も出て参りました。本年度の企業からの求人倍率は 3.5 倍となっています。昨年度に比べ社会的にも更に大変厳しい状況の中、昨年度並み倍率は大変ありがたい事だと思います。ただ、1 人あたり 3.5 社と言いましても、現実には 1 社、2 社と受けても内定がもらえてない学生も居りますので、4 年生の皆様は安心されないほうが良からうと思ひます。このような状況ですので、学校でもできるだけ学生を第一希望の所に行かせられるように、今年度、キャリア支援的な講習会や講演会を実施させていただきました。具体的には長野市の雇用促進室でのコミュニケーション能力の研修会を一学科ですが行いました。そして、今度は 3 月の特別編成授業で、4 年生の全クラス対象に行いたいと計画しております。また、その他就職に向けての講習会も実施してみましたが、当初の予想を上回る学生が参加しましたので、前向きな学生の姿に大変うれしく思っております。このような事を今後も組織的に計画していきたいと思ひます。4 年生の皆さんは就職希望者が現在約 54%、進学希望者が約 40% ですので全体としては就職希望者が多くなっております。毎年行っている進路説明会を今年度は 4 月 4 日の日曜日に行う予定ですので、また、案内を送らせて頂きますがよろしくお願い申し上げます。進学の状況につきましては例年通りかと思ひますので心配することはあまりありません。ただ一つ心配な事は進学する目的意識が明確でなく、何となく就職するのはいやでもう少し学生をしていたいと言う曖昧な目的で受験をすると受からない状況があります。やはり就職にしても進学にしてもしっかりと目的意識を持つことが大切であると考えます。今年度から「コスモス 3」という新しい進路支援システムを行っております。これはインターネットを通じて情報を得るものですが、ID とパスワードがあれば学生が自宅からでも見られるようになりましたので、ご活用いただければと思ひます。もう一つ授業料の件についてお話したいと思ひます。昨今のニュースでご存知かと思ひますが、高校生は 3 年間授業料が無償になるという政府の方針が出て、本校でも 1 年から 3 年までが対象となります。ただ、公立高校とは授業料が異なりますので、私立高校と同じ対応で行うようにと言う通知が来ております。詳細はまだはっきりと把握しておりませんので、現在の 1、2 年の保護者の皆様は留意していただければと思ひます。一方、現在の 3、4 年は対象となっておりますので従来どおりの対応をお願いしたいと思ひます。ただ、授業料の減免などにつきましては注視していただければと思ひます。全般的なことですが、今年度は校舎の改修に伴いまして、学生にも色々な部分で迷惑をかけて申し訳なく思っております。しかし、このような環境の中でも学生たちは課外活動に一生懸命に取り組んでおりました。詳しくは「学園だより」を見ていただければと思ひますが、例年のごとくスピードスケートではインターハイや国体に出場して準優勝したり、今の学生の事ではありませんが、本校を卒業した山浦間予算がカーリングの選手としてオリンピックに出場します。垂れ幕も用意したりして、大変喜ばしいことの一つだと思ひます。また、今年度は国際的な交流などを始めようと言うことで、タイの高専との交流会を始めました。今年度は 1 月 5 日～9 日までタイのテクニカルカレッジに 6 名の学生が訪問して交流してきました。大変有意義な交流会であったようで、これについても他の学生に報告してもらいながら、国際的な感覚を身に付けてもらえればと思ひます。また何かありましたら気軽に声をかけていただければ、お答えいたしますのでよろしくお願い申し上げます。

学年別懇談会報告

■ 1 学年 堀内先生

1 学年の懇談会は、1 年 5 組担任の堀内先生にご出席いただき、参加者 25 名で行われました。先生から学校生活の様子について伺うとともに、参加者による意見交換を行いました。

先生からお話いただいた主な内容は、次のとおりです。今年度から数学と物理の補習を始めた。各クラス前期試験の成績下位 5 名を対象として、月曜日と金曜日に実施している。生徒の学力は年々低下してきており、できる子とできない子の差が広がってきていると感じる。また、スキー実習は怪我もなく無事に実施できたが、基本的な行動のできない生徒が多いと感じた。事前にしおりを作り、特活の時間に読み合わせを行ったが、読めば書いてあることを何でもすぐに聞いてくる子が多かった。

先生からのお話の後、参加者による意見交換を実施し、疑問点について先生から答えていただきました。概要は次のとおりです。Q：補講は数学と物理のみか。英語はやらないのか。先生：今年度から始めたものであるが、時間がなため現在は無理。Q：家では勉強しているか。A：ほとんどの子が家では勉強していない様子。先生：本来であれば 1 日数時間の家庭学習は必要はなはずであるが、アンケートをとってみるとほとんどやっていない。テスト前に少しやるという気風になっている。また、今年は授業中の居眠りも多い。Q：パソコンを買ってあげたら、自分の部屋で過ごす時間が長くなった。勉強しているのかパソコンを見ているのか分からない。A：どこの家庭も同様。先生：基本的なパソコン操作は学校で教えるので、家ではあまり使わない方がいいと思う。また、携帯電話は連絡用には必要であると思うが、休憩時間になるとメールや対戦型ゲームをしている子が多い。授業中にゲームをしている子がいたので注意したことがある。Q：子供の友達が家に遊びに来ることがあるが、挨拶がきちんとできない子が多い。先生：学校では学生会を中心にあいさつ運動を行っているが、基本的には家庭での教育が大切。Q：2 年の研修旅行の行き先は決まっているのか。先生：北陸方面に決まっている。学校行事であるので、希望は取らずに決めている。

その他にも色々な意見が出され、先生からの貴重なお話をお聞きすることができるとともに、有意義な意見交換を行うことができました。



■ 2 学年 大西先生

2 学年の懇談会は、一般科物理 (2 年 2 組担任) の大西教授にご出席いただき、父母の参加 17 名で行われました。最初に大西先生から自己紹介と 2 学年の学校での様子についてお話を伺いました。その内容は、耐震工事のため落ち着かない状況の中で学校生活を送っていた状況でした。また、家で勉強が集中して出来ていないと感じられる。3 年になると厳しくなる学科もあります。日々の勉強の習慣が大切です。今年の 2 年生は平均的に高い学力だったが最近になりブレーキがかかっているようです。その後、父母からの質問に先生からお答え頂く形で会が進みました。Q：部活についてメリハリが無いように感じる。A：学校の基本方針は 19 時以降、試験の 1 週間前は禁止になっています。部活動を生活の中心としている学生もいるので自主性を重んじながら指導教官を中心に指導しています。Q：就職か進学か迷っています。A：長い人生の中で自分を探すことが重要で、自分を伸ばす特性を見つけるのにも部活動も大切。人によっては、自分探しをしなければならぬし、ある人は充分探せているからそろそろ勉強した方が良い人もいます。2 年生の今頃が中だるみの時期になっています。自分の目標をもち、最低限の学力があれば、クラブ活動をする事によって、自分が探せることもあるので良い結果になると思います。なりたい自分になる為にも、最低限の勉強はきちんとしておくように家庭でも言って頂きたい。進路の選択においては、消去法での人生を歩んで欲しくない。社会に出て自分の良さを活かしたいから就職、何々を勉強したいから進学といったことを考える時期です。進学の場合、編入すると 3 年生になるので、大学卒業で就職しようとするすぐ就職活動をする事になる。今は大学を卒業しても最先端の勉強が出来る訳ではなく、大学院まで行くと最先端の勉強ができます。進学を希望するので

あれば大学院までの4年間を考えた方がよいと思います。また、高専の専攻科と大学を比べると専攻科の方が下とされているかも知れませんが、高専の5年間では大学で勉強することをやってしまうと言われていています。高専の学生が大学に行くと3年の内容はすでに習い終わっているため授業に付いていけない状況です。専攻科を出ると大学卒業以上のことをやっているはずですが、専攻科を卒業するときには、県内でのインターンシップ研修もあり、県内限定ですが会社側も有能な技術者を採用できることから安心して採用しています。全国的な会社の場合は、大卒と高専卒と比べられてしまうことがあるので残念なことです。専攻科の3割が進学しています。進路の選択として専攻科に行ってから、県内企業への就職か大学院への進学か選択する道もあります。その他の質問にも大西先生から熱心にお答え頂き学校での子供の様子をよく知ることができ、とても参考になる有意義な懇談会でした。



■ 3 学年 鈴木先生

3 学年の懇談会は、電気電子工学科担任の鈴木 宏先生にご出席いただき、父母の参加者 17 名で行われました。最初に、鈴木先生から自己紹介と、5 種類のプリント資料をいただきました。懇談会はその資料をもとに、先生からお話を伺いました。その内容について以下に記します。

【進級について】3 年生は、専門科目が増え一般科目と半分になりました。専門が苦手な人、2 年生の学習ができていない人は、きつくなります。最後の試験なのでしっかり勉強してください。3 年の学習が 4・5 年の科目内容に続きます。ここでできないと 4・5 年が辛くなります。

テストは 2 月 17 日から 19 日の前半 3 日間と、23 日から 25 日の後半 3 日間で、中に 3 連休を挟みます。うまくその休みを利用してください。

レポートは必ず提出してください。

もし、留年した場合、修了試験があります。退学を条件に 3 年生を修了できます。

【実務訓練】4 年生の夏休み、10 日間(5 日間もあり)企業で実習を行います。選択ですが、どの学科もほぼ全員が参加します。

自宅から通える企業で、製造業が主になります。3 月の休みに自宅から通える企業を探してみてください。連絡等は学校から行います。

【進路関係】4 年生では、進路決定を考えてください。実務訓練もそのための一つです。進路決定には、自己分析→進路選択→自己 PR→努力→進路決定 を行う必要があります。

『就職』: 求人倍率は、就職者が少ない事もあり、高倍率です。しかし、求人はきますが、内定をもらえるとは限りません。学校推薦でも、試験があり、できないと落とされます。基礎学力をつけてください。また、目的意識(なぜこの会社を希望したか)がはっきり言えないと面接で落とされます。例として、「私はこの会社でこのことをしたいです」ときちんと述べても、「そのことは、他の会社でもできますよね」と切り返され、返答に困った話も聞きます。よく企業研究をしてください。

『進学』: 専攻科は、いまのところ、4 年次の席次で半分以上が推薦をもらえます。しかし、学力希望の学生のことを考え、基準が少し上がるかもしれません。秋までにはっきりします。学費は大学の半額です。大学院へもいけますが、専攻科は就職が主になります。

一般大学への推薦は、1 年から 4 年までの、各学年の平均点の平均で順位を付け、席次が 3 割以内(40 人クラスで 12 番)です。平均点を少しでも上げてください。一般大学は、専門性も高く(学科が多い)、教授陣、同級生も多くいます。どちらにするかは、よく考えてください。

【3 年生について】最近の 3 年生と比べても、まだ子供だな、大人になりきれていないな、と思うことが多々あります。他人に配慮できない、自己中心的、思っていることを言ってしまう、行動してしまう など。少しずついろいろなことを自ら考えられるようになってほしいとおもいます。

専攻科を始め大学編入先などが紹介されました。進学された学生の保護者からは「希望編入先大学の偏差値が分からないので、指標がほしい」との意見がありました。学校全般の事では「低学年(1,2年生)時は高専の仕組みが分かりにくく情報が少なくて困惑した」、「工嶺祭(文化祭)時の面談以外にもクラス懇談会を年に1,2回行って欲しい」、「クラスの連絡網を文章化してほしい」などの要望がありました。特に連絡網に関しては、今年度、新型インフルエンザの流行などがあり、欠席連絡をどこにすればよいか困惑した方がいました。最後に先生からは様々なお話をいただきました。今後については卒業すると親元を離れ、目的意識がないと新しい土地や環境で人生を送るには難しいので、日ごろから目標を持って生活していく様にと貴重なアドバイスを頂きました。終始、和やかな雰囲気での交流でき、大変有意義な時間となりました。



支部長挨拶

長野支部長 長崎 夫与志



本日は学年別懇談会に大勢の方にご参加いただきありがとうございます。

また、学校側より、大島校長先生始め8名の先生方にお越しいただきました。先生方には公私共々お忙しい中ありがとうございます。会員の皆様には諸般の事情によりご案内の発送が遅れまして、先ずもってお詫び申し上げます。ご案内の発送が遅れまして、先ずもってお詫び申し上げます。

今回初めて出席される方もおられますので、少し説明させていただきますと、なかなか先生とお話する機会がありませんので、学校の事や子供の様子など聞きたいこと、知りたいことなどありましたら、この場で納得のいくまで限られた時間ではありますが、先生に聞いてください。

さて、いよいよ子供も来月の3月に卒業の運びとなってきております。楽しみに待っているところですが、一昨年のいわゆるサブプライムローン問題から端を発して、世の中がおかしくなってきました。特に4年生は就職か進学か迷っている人もおられるかと思いますが、大袈裟に申し上げますと人生のターニングポイントを迎えているように思われます。長野高専で学んで良かった、助かったと溜飲を下げられるような、そんな、学年別懇談会になりますようよろしくお願いいたします。また、5年生は厳しくも楽しかった5年間を振り返って、思い出話に花を咲かせてください。

最後になりますが、会員の皆様の会の運営を支えていただいた役員の方々に御礼申し上げ、蕪辞であります但挨拶とさせていただきます。

編集後記

平成21年度の学年別懇談会も盛会の内に無事終了しました。先生との懇談会は私達会員にとって学校や我が子の情報を得るのに大変良い機会だと思います。今回参加できなかった会員の皆様方には、次回の参加を是非お願い致します。編集委員の方々のご協力誠にありがとうございました。

編集委員長 原田 泰
編集委員 小林 和子 寺島 隆一 土屋 保雄
徳武 福司 佐久間 保子

お世話になりました

会員の皆様のご繁栄と
ご発展をお祈りいたします。

卒業役員一同
唐沢 宏 長崎 夫与志
丸野 寛美 小市 秀道
村松 恵子 岡田 敬司
小林 和子 原田 泰